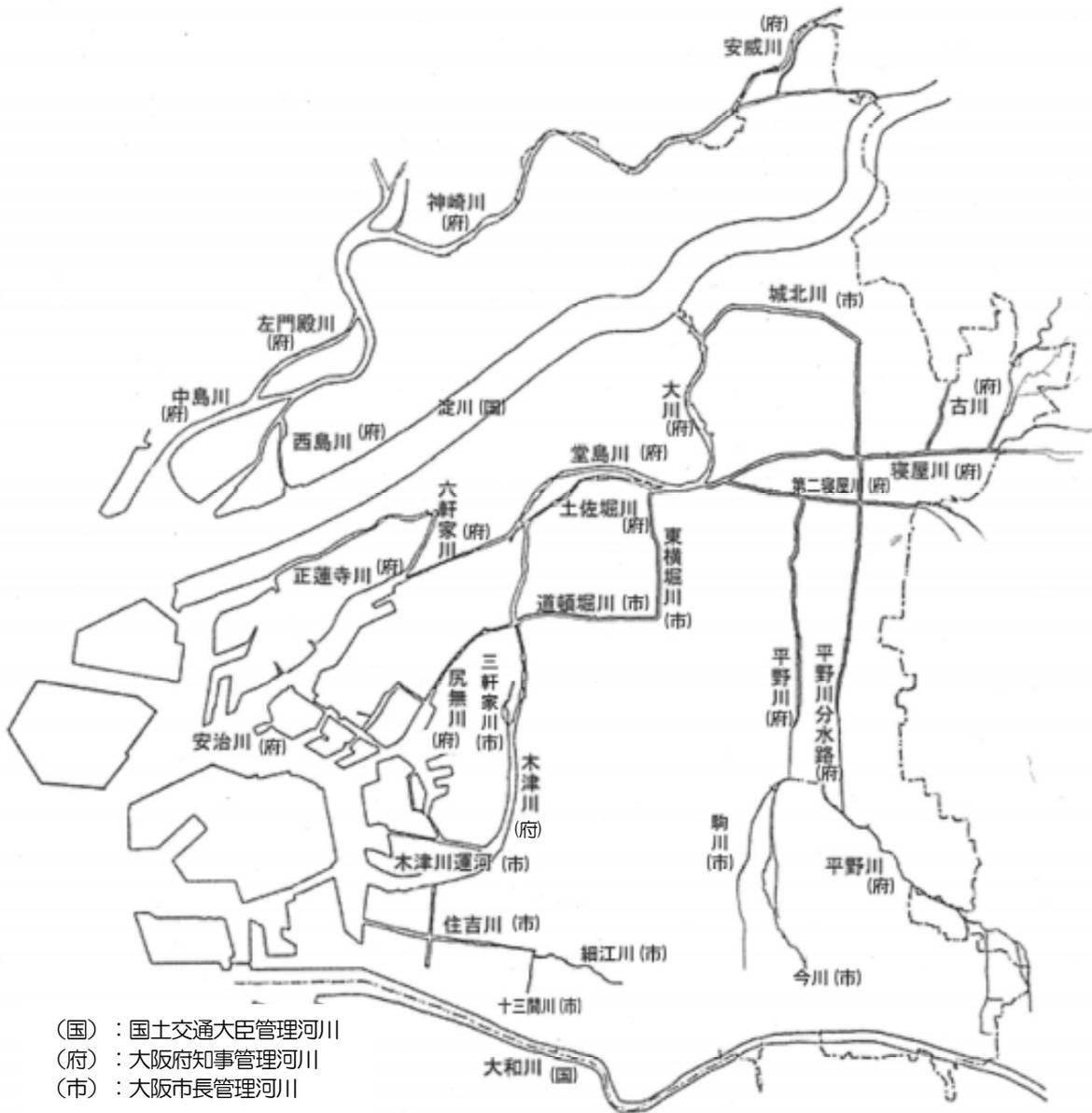


資料 2 - 1 水環境協働推進会議関連の取組み

【水環境イベントの実施状況】

年・月・日		内容
平成 28 年 5 月 21 日	土曜日	水辺教室（東淀川区淀川柴島干潟）
平成 28 年 5 月 29 日	土曜日	ふれあいの水辺（都島区大川）
平成 28 年 6 月 4 日	土曜日	水辺教室（東淀川区淀川柴島干潟）
平成 28 年 7 月 6 日	水曜日	出前講座（城東区関目東小学校）
平成 28 年 7 月 21 日	木曜日	なにわ子どもエコクラブ（東淀川区淀川柴島干潟）
平成 28 年 7 月 23 日	土曜日	なんばエコプロジェクト（浪速区）
平成 28 年 7 月 28 日	木曜日	なにわ子どもエコクラブ（住吉区大和川吾彦大橋右岸）
平成 28 年 8 月 4 日	木曜日	出前講座（阿倍野区阿倍野市民学習センター）
平成 28 年 8 月 5 日	金曜日	出前講座（阿倍野区阿倍野市民学習センター）
平成 28 年 8 月 11 日	木曜日 ・ 祝日	出前講座（西成区ひまわり迷路）
平成 28 年 8 月 14 日	日曜日	出前講座（西成区ひまわり迷路）
平成 28 年 9 月 11 日	日曜日	城北川フェスティバル（城東区城北川）
平成 28 年 9 月 16 日	金曜日	水辺教室（平野区川辺小学校）
平成 28 年 9 月 18 日	日曜日	エコ縁日（鶴見区鶴見緑地）
平成 28 年 10 月 1 日	土曜日	ガレージセール（中央区大阪城公園）
平成 28 年 10 月 12 日	水曜日	水辺教室（平野区長吉小学校）
平成 28 年 10 月 22 日	土曜日	ふれあいの水辺（都島区大川）
平成 28 年 11 月 6 日	日曜日	出前講座（西成区もと津守小学校・幼稚園）
平成 28 年 11 月 12 日	土曜日	自然ふれあいフェスタ（東成区南中本公園）
平成 28 年 12 月 4 日	日曜日	餅つき大会（平野区川辺小学校）

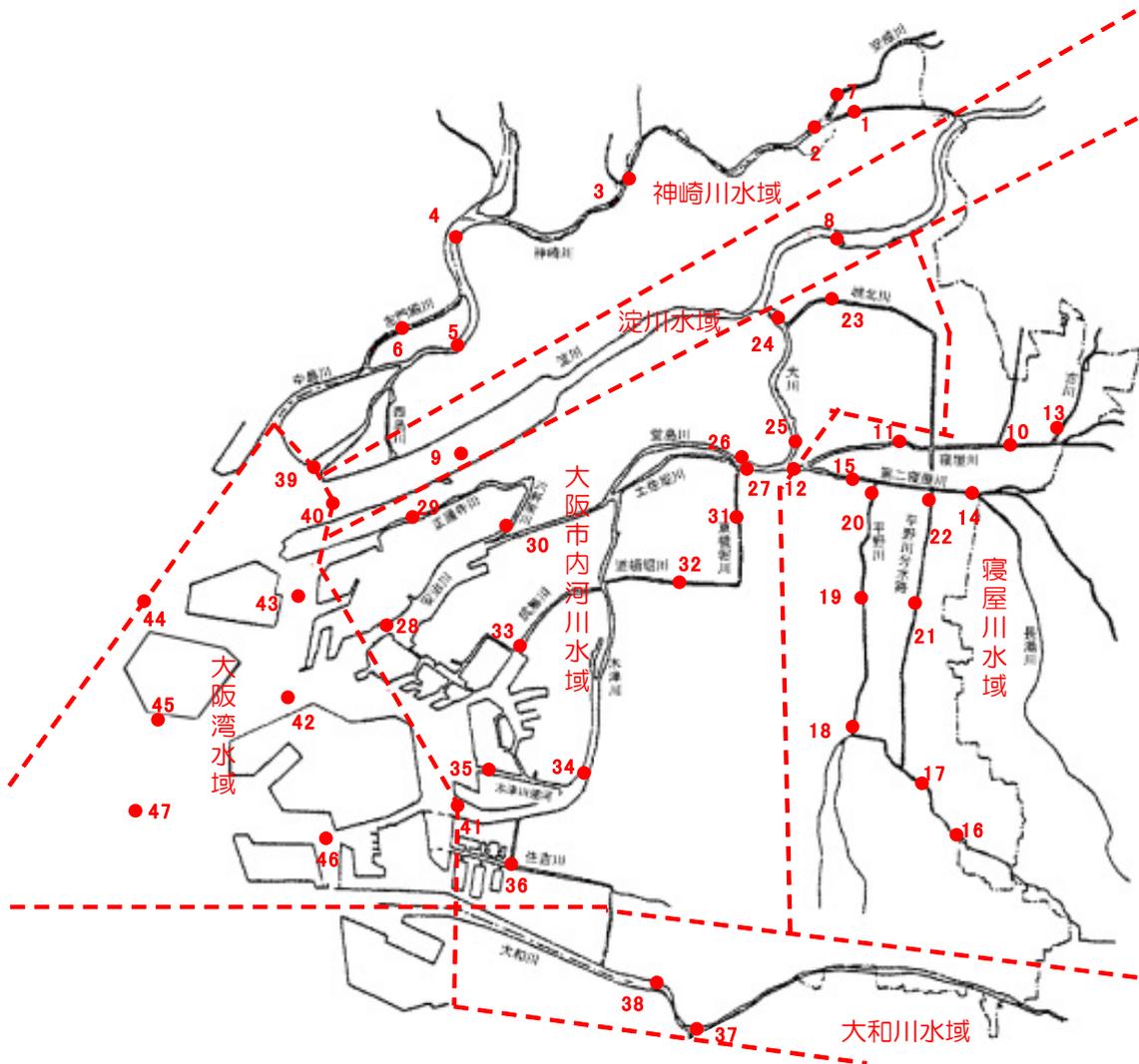
資料 2-2 大阪市内河川の水質測定水域区分



水質測定水域区分	河川名
淀川水域	淀川
神崎川水域	神崎川、左門殿川、安威川、中島川、西島川
寝屋川水域	寝屋川、古川、第二寝屋川、平野川分水路、平野川、駒川、今川
大阪市内河川水域	大川、城北川、堂島川、土佐堀川、道頓堀川、正蓮寺川、六軒家川、安治川、尻無川、木津川、木津川運河、住吉川、東横堀川、細江川、十三間川
大和川水域	大和川

資料2-3 水質調査地点図

【計47地点（内大阪府実施5地点、近畿地方整備局実施4地点）】



No.	地点名	河川名	No.	地点名	河川名	No.	地点名	河川名	No.	地点名	河川名
△1	小松橋	神崎川	14	阪東小橋	第二寝屋川	28	天保山渡	安治川	△39	神崎川河口中央	大阪湾(大阪湾)
2	吹田橋	〃	△5	下城見橋	〃	29	北港大橋	正蓮寺川	△40	淀川河口中央	〃
3	新三国橋	〃	16	中竹測橋	平野川	30	下流700m	六軒家川	△41	木津川河口中央	〃
△4	神崎橋	〃	17	安泰橋	〃	31	春日出橋	東横堀川	△42	No.5フイ跡	〃
5	千船橋	〃	18	睦橋	〃	32	本町橋	道頓堀川	43	No.25ドルフィン	〃
6	辰巳橋	〃(左門殿川)	△19	南弁天橋	〃	33	大黒橋	尻無川	44	北港沖1000m	〃
7	新京阪橋	安威川	20	城見橋	〃	34	甚兵衛渡	木津川	△45	大阪湾関門外	〃
8	菅原城北大橋	淀川	21	片一橋	平野川分水路	35	千本松渡	木津川運河	△46	南港	〃
9	伝法大橋	〃	22	天王田大橋	〃	36	船町渡	住吉川	④	大阪湾C-3	〃
10	今津橋	寝屋川	23	赤川橋	城北川	37	住之江大橋	大和川			
11	新喜多大橋	〃	24	毛馬橋	大川	38	下流1100m	〃			
12	京橋	〃	25	桜宮橋	〃	39	浅香新取水口	〃			
13	徳栄橋	古川	26	天神橋(右)	堂島川	40	遠里小野橋	〃			
			27	天神橋(左)	土佐堀川						

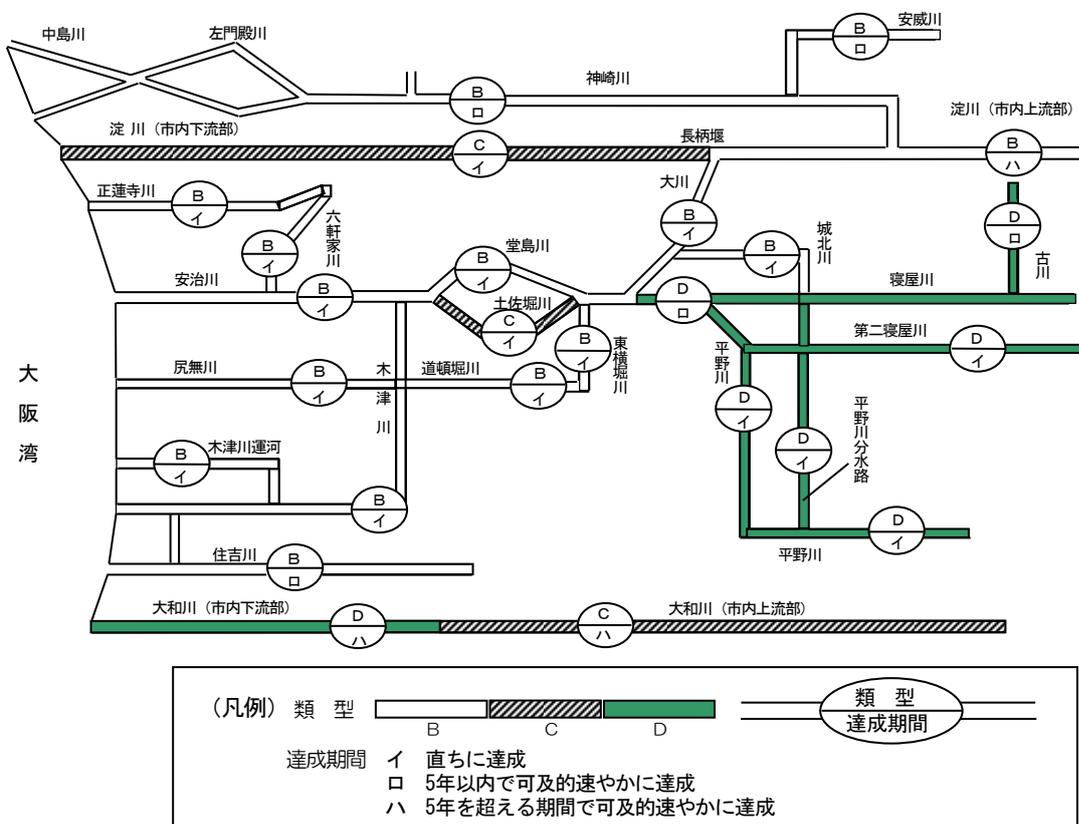
- (注) 1. No. 3, 4, 6, 7, 47は大阪府、No. 8, 9, 37, 38は近畿地方整備局がそれぞれ測定しています。  
 2. 表中の数字No.の○は環境基準点、△は準環境基準点、それ以外は本市の独自地点です。  
 3. 健康項目は環境基準点、準環境基準点において監視しています。

資料 2 - 4 各水域の環境基準達成状況（平成28年度）

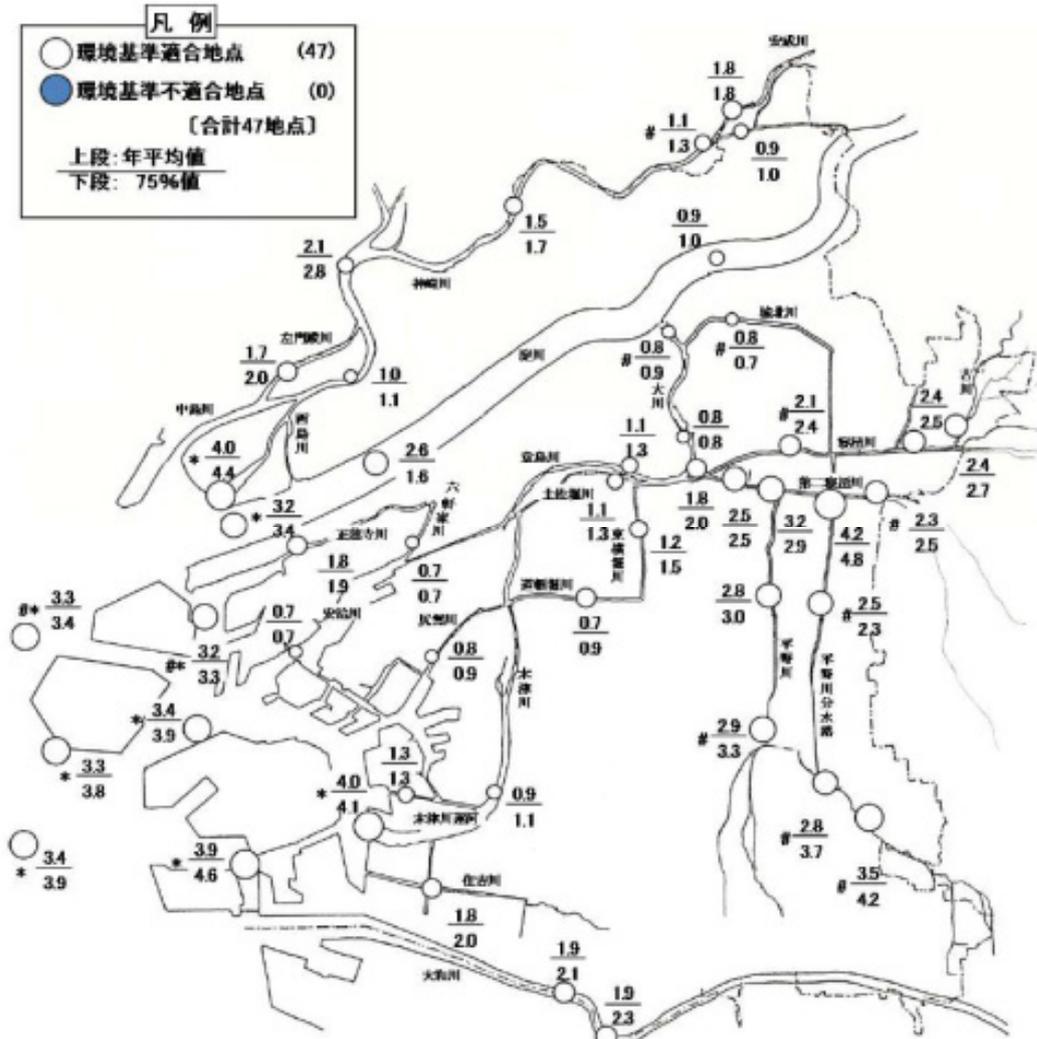
水 域 名	環境基準類型	環 境 基 準	達 成 状 況
淀川水域（市内上流部）	B類型	BOD 3mg/L以下	すべての地点で達成
淀川水域（市内下流部）	C類型	BOD 5mg/L以下	すべての地点で達成
神崎川水域	B類型	BOD 3mg/L以下	すべての地点で達成
寝屋川水域	D類型	BOD 8mg/L以下	すべての地点で達成
大阪市内河川水域 （土佐堀川を除く）	B類型	BOD 3mg/L以下	すべての地点で達成
（土佐堀川）	C類型	BOD 5mg/L以下	
大和川水域（市内上流部）	C類型	BOD 5mg/L以下	すべての地点で達成
大和川水域（市内下流部）	D類型	BOD 8mg/L以下	
大阪湾水域	海域C類型	COD 8mg/L以下	すべての地点で達成

（注）平成21年6月30日付大阪府公告第118号で、神崎川水系の安威川及び市内河川水域の正蓮寺川、尻無川、木津川、木津川運河、住吉川、東横堀川は環境基準類型がC類型からB類型に改訂されました。改定後の河川の水質環境基準類型は次図のとおりです。

（参考）河川の水質環境基準類型【平成21年6月30日改訂】



資料 2-5 各測定地点における水質汚濁状況図（平成28年度）



1. 上段の数字はBOD年平均値(mg/L)、ただし\*の数字はCOD年平均値(mg/L)  
下段は環境基準を判定するための75%値（注3参照）
2. 河川はBODで評価し、河口地点及び海域はCODで評価しました。
3. 環境基準達成とは年間を通じて日間平均値が環境基準を満足する割合が75%以上の場合を指します。
4. 測定地点は、水質汚濁防止法にもとづく大阪府公共用水域水質測定計画により定めた地点及び本市が独自に定めた地点（図中の#印）です。

**環境基準類型（河川BOD）**

B類型（3mg/L以下）— 淀川（上流部）、神崎川、安威川、左門殿川、城北川、  
市内河川（大川、堂島川、道頓堀川、六軒家川、安治川、東横堀川、正蓮寺川、  
尻無川、木津川、木津川運河、住吉川）

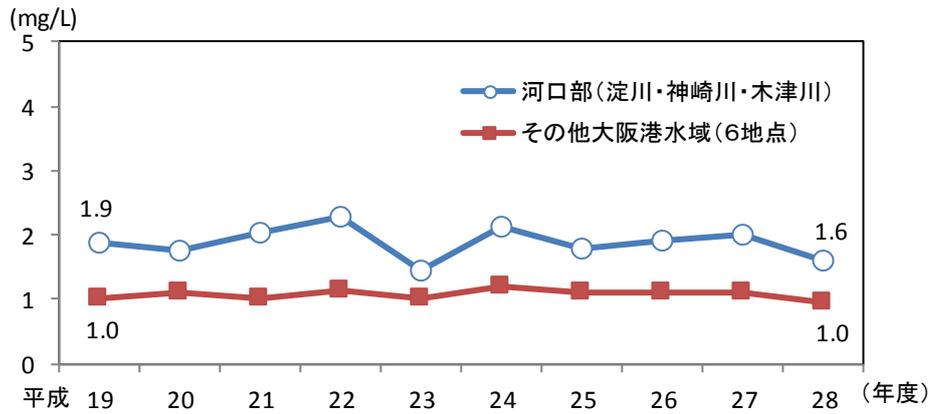
C類型（5mg/L以下）— 大和川（上流部）、淀川（下流部）、土佐堀川

D類型（8mg/L以下）— 大和川（下流部）、寝屋川水系（古川、寝屋川、第二寝屋川、平野川、平野川分水路）

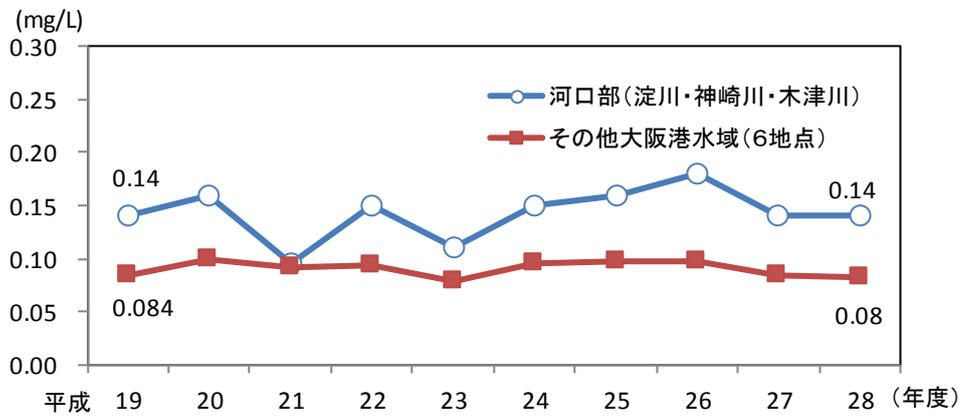
※大阪港湾水域（\*印）のCOD環境基準は8mg/L以下

資料2-6 大阪湾の全窒素、全磷の経年変化（年平均値）

① 全窒素



② 全磷



資料 2-7 大阪市内公共用水域における水質調査結果（平成28年度）

① 河川（38地点）

No.	調査地点	河川名	類型	pH	DO (mg/L)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)
1	小松橋	神崎川	B	7.1 ~ 7.8	9.4	0.9 (1.0)	3.7	7
2	吹田橋	"	B	7.2 ~ 7.5	8.2	1.1 (1.3)	—	11
3	新三国橋	"	B	7.0 ~ 8.2	7.7	1.5 (1.7)	5.6	8
4	神崎橋	"	B	7.2 ~ 8.5	8.6	2.1 (2.8)	5.8	5
5	千船橋	"	B	7.2 ~ 8.5	7.3	1.0 (1.1)	4.6	4
6	辰巳橋	" (左門殿川)	B	6.6 ~ 8.3	7.7	1.7 (2.0)	5.4	4
7	新京阪橋	安威川	B	6.8 ~ 8.8	8.5	1.8 (1.8)	6.0	13
8	菅原城北大橋	淀川	B	7.6 ~ 8.0	9.4	0.9 (1.0)	3.0	5
9	伝法大橋	"	C	7.6 ~ 8.5	9.7	2.6 (1.6)	3.8	6
10	今津橋	寝屋川	D	6.7 ~ 7.3	5.4	2.4 (2.5)	6.9	7
11	新喜多大橋	"	D	6.8 ~ 7.1	4.7	2.1 (2.4)	—	7
12	京橋	"	D	6.6 ~ 7.5	6.7	1.8 (2.0)	5.8	6
13	徳栄橋	古川	D	6.7 ~ 7.3	4.7	2.4 (2.7)	6.4	11
14	阪東小橋	第二寝屋川	D	6.6 ~ 7.1	6.4	2.3 (2.5)	—	4
15	下城見橋	"	D	6.6 ~ 7.3	4.7	2.5 (2.5)	7.1	4
16	中竹澗橋	平野川	D	6.8 ~ 7.3	9.1	3.5 (4.2)	—	4
17	安泰橋	"	D	6.9 ~ 7.6	12	2.8 (3.7)	—	4
18	睦橋	"	D	6.8 ~ 7.3	8.1	2.9 (3.3)	—	4
19	南弁天橋	"	D	6.6 ~ 7.4	5.4	2.8 (3.0)	7.9	5
20	城見橋	"	D	6.6 ~ 7.3	4.3	3.2 (2.9)	7.7	6
21	片一橋	平野川分水路	D	6.0 ~ 7.1	6.4	2.5 (2.3)	—	4
22	天王田大橋	"	D	6.6 ~ 7.1	4.3	4.2 (4.8)	8.1	4
23	赤川橋	城北川	B	7.2 ~ 7.6	9.1	0.8 (0.7)	—	6
24	毛馬橋	大川	B	7.2 ~ 8.3	9.7	0.8 (0.9)	—	6
25	桜宮橋	"	B	7.1 ~ 8.1	9.4	0.8 (0.8)	3.2	6
26	天神橋（右）	堂島川	B	6.9 ~ 7.8	8.1	1.1 (1.3)	4.2	6
27	天神橋（左）	土佐堀川	C	6.8 ~ 7.6	7.7	1.1 (1.3)	4.4	6
28	天保山渡	安治川	B	7.4 ~ 8.3	7.0	0.7 (0.7)	2.8	2
29	北港大橋 下流700m	正蓮寺川	B	7.4 ~ 7.9	5.4	1.8 (1.9)	4.9	2
30	春日出橋	六軒家川	B	7.3 ~ 8.0	7.4	0.7 (0.7)	3.2	3
31	本町橋	東横堀川	B	6.9 ~ 7.4	6.1	1.2 (1.5)	4.7	9
32	大黒橋	道頓堀川	B	7.0 ~ 7.4	6.4	0.7 (0.9)	4.3	4
33	甚兵衛渡	尻無川	B	7.1 ~ 8.2	5.8	0.8 (0.9)	3.7	3
34	千本松渡	木津川	B	7.1 ~ 7.8	6.2	0.9 (1.1)	4.1	2
35	船町渡	木津川運河	B	7.2 ~ 8.9	8.2	1.3 (1.3)	3.9	3
36	住之江大橋 下流1100m	住吉川	B	6.9 ~ 7.6	6.1	1.8 (2.0)	6.8	2
37	浅香新取水口	大和川	C	7.9 ~ 8.3	9.6	1.9 (2.3)	5.8	7
38	遠里小野橋	"	D	7.9 ~ 8.4	9.6	1.9 (2.1)	6.1	6

(注) 1. 数値は年平均値です。(但し、pHは最小～最大を示しています。)  
 2. BOD欄の( )内の数値は、日間平均値の年間75%値を示しています。  
 3. 測定していない項目については「—」で示しています。

② 海 域（9地点）

No.	調査地点	類型	pH	DO (mg/L)	COD (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全磷 (mg/L)
39	神崎川河口中央	C	7.5~8.4	6.9	4.0 (4.4)	1.6	0.16
40	淀川河口中央	C	7.6~8.8	8.3	3.2 (3.4)	0.88	0.11
41	木津川河口中央	C	7.2~8.0	6.4	4.0 (4.1)	2.4	0.14
42	No.5 ブイ跡	C	7.7~8.5	8.1	3.4 (3.9)	1.1	0.095
43	No.25 トルフィン	C	7.7~8.5	8.3	3.2 (3.3)	1.1	0.082
44	北港沖 1,000m	C	7.8~9.1	8.6	3.3 (3.4)	0.69	0.073
45	大阪港関門外	C	8.0~9.0	8.7	3.3 (3.8)	0.66	0.061
46	南 港	C	7.6~8.7	7.6	3.9 (4.6)	1.3	0.10
47	大阪湾C-3	C	8.0~8.7	8.6	3.4 (3.9)	0.84	0.081

注1. 表中の数値は、表層における測定値です。

2. 数値は年平均値です。（但し、pHは最小～最大を示しています。）

3. COD欄の（ ）内の数値は、日間平均値の年間75%値を示しています。

資料2-8 大阪市内河川底質調査結果（平成28年度）

(乾燥重量値)

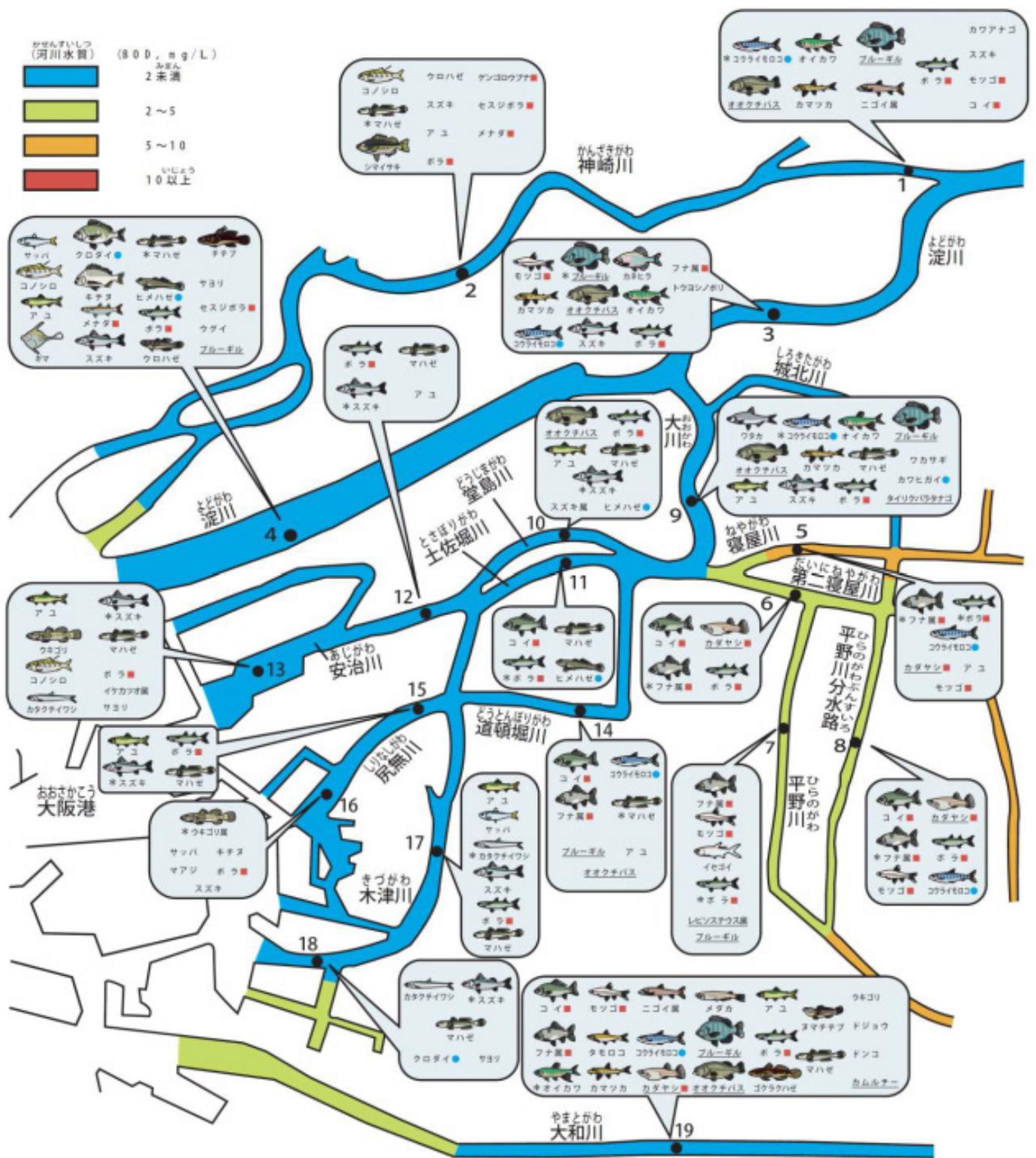
調査地点	河川名	含水率 (%)	pH	総水銀 (mg/kg)	アルキル水銀 (mg/kg)	PCB (mg/kg)
千船橋	神崎川	42	7.7	3.1	<0.01	0.88
大黒橋	道頓堀川	28	7.8	0.79	<0.01	0.05
天保山渡	安治川	61	7.9	1.0	<0.01	0.02
甚兵衛渡	尻無川	49	7.7	0.90	<0.01	0.06
千本松渡	木津川	56	8.4	2.1	<0.01	0.17

【試料採取：平成28年5月18日】

資料 2 - 9 市内河川魚類生息状況調査結果（平成23年度）

項 目	調 査 結 果
① 調査時期	春季調査 平成23年6月(5日間)      夏季調査 平成23年8月(5日間) 秋季調査 平成23年11月(5日間)      冬季調査 平成24年2月(5日間)
② 調査場所	大阪市内河川 19地点
③ 調査結果の概要	<p>ア. 確認された魚種は47種で、前回調査(平成18年度調査、以下同じ。)と比べて8種増加しました。うち在来種については41種で、前回調査と比べて5種増加しました。また、これまでの調査の中で最多の確認種数となりました。</p> <p>イ. 確認種数が多かった地点は、大和川(21種)、淀川下流(17種)、大川(13種)でした。</p> <p>ウ. きれいな水質の指標種の確認地点数は、前回調査の9地点から11地点に増加しました。また、寝屋川、平野川分水路で、初めて、きれいな水質の指標種が確認されました。</p> <p>エ. 大阪府レッドデータブックにおいて絶滅危惧種として記載されているドジョウ(絶滅危惧Ⅱ類)、ウキゴリ(同Ⅱ類)が初めて確認され、ゴクラクハゼ(同Ⅰ類)、メダカ(同Ⅱ類)は前回に引き続き確認されました。</p> <p>オ. これまでの調査では、ボラ類やスズキなどの遊泳魚のみが採取されていた河口域で底生魚であるハゼ類が新たに確認されました。</p> <p>カ. 外来種については、オオクチバス(ブラックバス)が前回調査の4地点から6地点で、ブルーギルが前回調査の5地点から7地点で確認され、平成3年度の調査開始以降増加傾向にあり、生息域を広げています。</p>
④ 河川ごとの特徴	<p>ア. 《神崎川》 上流域では、前回調査ではブルーギル、オオクチバス(ブラックバス)の外来種が最も多く確認されましたが、今回の調査では在来種であるコウライモロコが全体個体数の半数以上を占めて最も多くなりました。下流域では、マハゼ、コノシロなどの汽水性海水魚が確認されました。</p> <p>イ. 《淀川》 上流域での確認個体数上位は依然としてオオクチバス(ブラックバス)、ブルーギルでしたが、在来種であるモツゴ、コウライモロコ、オイカワなども多く確認され、回復傾向にあると考えられます。下流域では、マハゼ、ボラなどの汽水性海水魚が確認されました。</p> <p>ウ. 《寝屋川・第二寝屋川》 前回調査では、比較的汚濁に強い外来種であるカダヤシが多く確認されましたが、今回調査ではカダヤシが減少し、在来種であるフナ属やボラが多く確認されました。また、寝屋川では指標種であるコウライモロコが初めて確認されました。</p> <p>エ. 《平野川・平野川分水路》 平野川では、依然ボラ、フナ属などの比較的汚濁に強い種が多く確認されました。平野川分水路では、フナ属、コイ、モツゴなどの比較的汚濁に強い種に加え、指標種であるコウライモロコが初めて確認されました。</p> <p>オ. 《大阪市内河川》 大川ではコウライモロコ、マハゼなどが多く確認されましたが、過去4回の調査では確認されなかった外来種が複数季にわたって確認されました。道頓堀川では、マハゼ、フナ属、コイなどととも指標種であるコウライモロコが確認されています。安治川、尻無川、木津川など汽水域では、スズキ、カタクチイワシ、ボラなど汽水海水魚が多く確認されました。またマハゼなどの底生魚が、ほぼすべての地点で確認されました。</p> <p>カ. 《大和川》 前回と同様、豊かな魚類相を示し、全調査地点中最も多い21種が確認されました。その中には、指標種であるコウライモロコや大阪府内では絶滅危惧種に区分されているドジョウ、メダカ、ウキゴリ、ゴクラクハゼが含まれます。</p>

資料 2-10 市内河川の魚類の分布（平成 23 年度）



- ・ 河川の BOD は平成 22 年度のデータを使用しました。
- ・ 各地点で確認された個体数が 2 個体以上のものはイラスト付き、1 個体のものは種名のみ表記しています。
- ・ 種名に引いたアンダーラインは、その種が外来種であることを示します。
- ・ (右側に) ● : きれいな水質の指標種を示します。
- ・ (右側に) ■ : 汚濁した水質でも生きられる種を示します。
- ・ (左側に) \* : 各地点において最も個体数が多かった種を示します。

資料2-11 下水道普及状況（平成28年度末）

処 理 面 積	190.52 km <sup>2</sup>
処理区域面積普及率 ※1	99.2 % (市陸地面積191.97 km <sup>2</sup> )
処理人口普及率 ※2	99.9 %
下水管渠延長	4,954 km
下水処理場	12 か所
抽水所	58 か所
下水処理能力	2,844 千m <sup>3</sup> /日

※1 処理区域面積普及率＝処理面積/市陸地面積

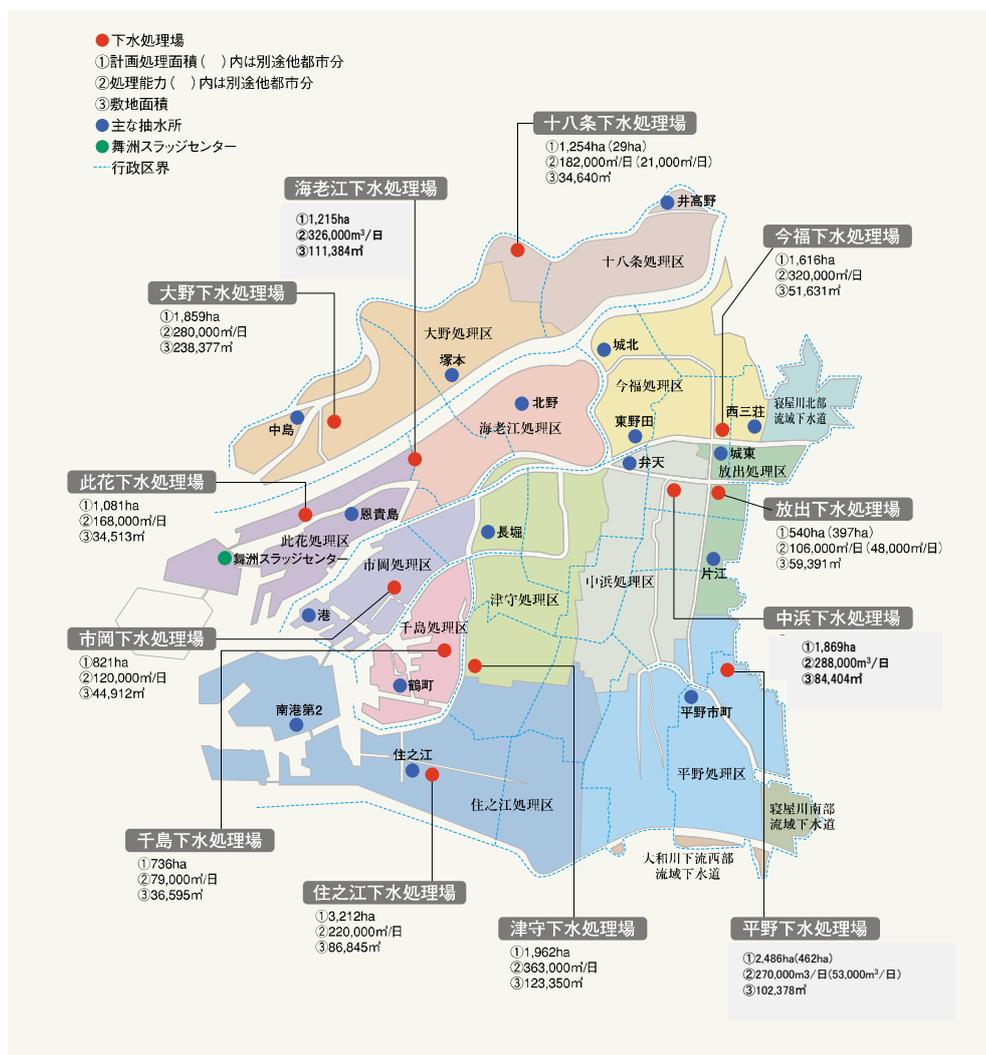
※2 処理人口普及率＝処理人口（2,691,729人）/総人口（2,691,742人、平成27年速報値国調人口）

資料2-12 高度処理施設整備状況（平成28年度末）

高度処理施設	処 理 能 力
急速ろ過法等の導入	590.6千m <sup>3</sup> /日
嫌気好気法への改良	1,649.3千m <sup>3</sup> /日
循環式硝化脱窒法等の導入	205.8 千m <sup>3</sup> /日

資料2-13 下水処理区と下水処理場

市内は、12の下水処理区と3つの流域下水道の区域に分けられています。



資料 2-14 下水処理状況（平成 28 年度）

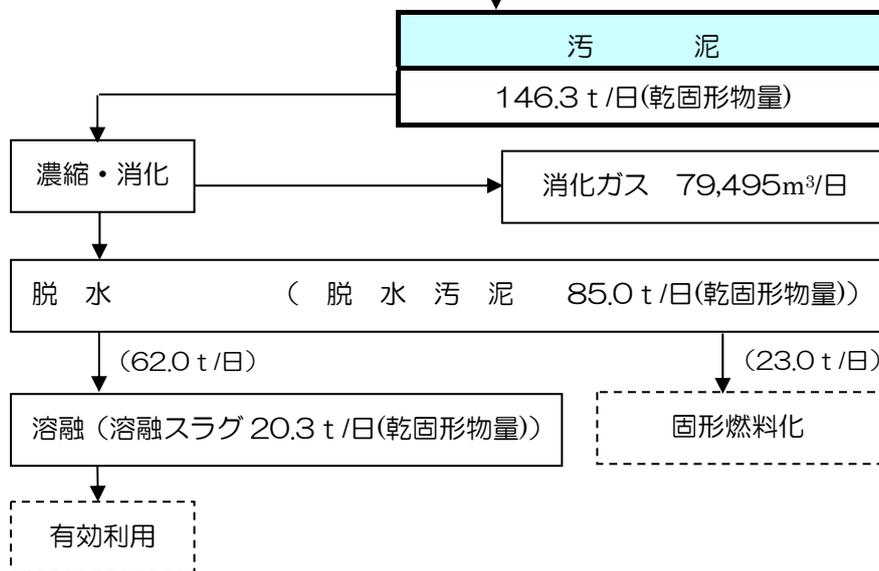
【水処理】

（二次処理水量 1,643,723m<sup>3</sup>/日）

流入			放流		
	水質(mg/L)	負荷量(t/日)		水質(mg/L)	負荷量(t/日)
SS	93	152.9	SS	4	6.6
BOD	130	213.7	BOD	3.8	6.2
COD	79	129.9	COD	10	16.4
全窒素	26	42.7	全窒素	10	16.4
全りん	3.1	5.1	全りん	0.4	0.7

水質は市内12下水処理場における年間平均水質の加重平均値を示す。

【汚泥処理】



資料 2-15 水域別・行政区別・法律条例適用事業場数（平成29年3月末）

水域	行政区	瀬戸内海環境保全特別措置法	水質汚濁防止法	大阪府生活環境の保全等に関する条例	計
神崎川	西淀川	2	17		19
	淀川	1	1		2
	東淀川		1		1
大阪市内河川	北		1		1
	此花	1	29		30
	港		2		2
	大正	5	5	2	12
	住之江		4		4
寝屋川	西成		1	1	2
	旭	1			1
	城東	1	3		4
	中央		1		1
大和川	平野		1		1
	平野		5		5
計		11	71	3	85

- (注) 1. 水域区分は、水質汚濁防止法第3条第3項の規定による排水基準を定める条例に基づきます。  
 2. 大阪市内 12 下水処理場を含みます。

資料2-16 立入指導等の状況(平成28年度)

	公共用水域へ 排水する事業場	公共下水道へ 排水する事業場
立入事業場件数	91	2,770
水質基準超過件数	1	323
排水の一時停止命令	0	0
改善命令	0	0
改善勧告	0	0
その他指示	1	323

(注)大阪市内12下水処理場を含みます。

資料2-17 水質関係 法律・条例届出受理件数(平成28年度)

水域	法律・条例	瀬戸内海環境保全 特別措置法	水質汚濁防止法	大阪府生活環境の 保全等に関する条例
淀川		0	0	0
神崎川上流		5	8	0
神崎川下流		0	1	0
寝屋川		0	4	0
大阪市内河川		12	15	0
大和川上流		0	2	0
合計		17	30	0

(注)大阪市内12下水処理場を含みます。

資料2-18 特定事業場・除害施設必要事業場数(平成29年3月末)

行政区	特定事業場数	除害施設必要事業場数 (非特定事業場を含む)
北	138	142
東淀川	97	77
淀川	150	142
福島	68	54
西淀川	152	197
此花	89	104
旭	58	34
都島	55	43
城東	103	87
鶴見	71	70
東成	112	102
生野	147	113
中央	91	89
天王寺	55	43
浪速	55	39
西	59	60
大正	76	67
港	78	50
住吉	70	30
住之江	102	122
西成	89	68
阿倍野	62	32
東住吉	108	60
平野	192	154
合計	2,277	1,979

(注)公共用水域へ排水する事業場を含みません。